

弘法さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org

皆さん、あけましておめでとう
ございます。今年も紙上遍路の
かわら版。残すは**三十五ヶ寺**。頑張
って打ち通しましょう。では出発。

★火伏せ不動尊

五十三番から約三十四・五キロ
メートル、五十四番は**近見山(ち
かみざん)延命寺**。
山号の近見山は実際に今治市内
にある山。標高二四四メートルで
す。

行基和尚開基、**嵯峨天皇**勅願で、
お大師様が再興したと言われる延
命寺。当初は山頂にありましたが、
再三火に見舞われ移転。天正年
間に現在の山麓に落ち着きました。
ご本尊は**宝冠**をかぶった珍しい
不動明王。再三火災から逃れてい
ることから**火伏せ不動尊**と呼ばれ
ています。

当初は**円明寺(えんめいじ)**が
寺号でしたが、五十三番の円明寺
(えんみょうじ)と同名異音で紛



四国八十八ヶ所霊場マップ(五十四番から、五十七番)



★大通智勝如来

五十四番から約三・七キロメー

らわしいため、江戸時代に俗称と
して延命寺が定着。明治時代以降
に正式に延命寺となりました。
山門はもともと**今治城**の城門。
明治時代の城取壊しの際に移築さ
れたそうです。

トル、五十五番は**別宮山(べっく
さん)南光坊(なんこうぼう)**。四
国霊場のうち、寺号に「坊」がつ
くのはここだけ。
ご本尊も珍しい**大通智勝(だい
つうちしょう)如来**。もちろん四
国霊場で唯一です。

この如来は**法華経の化城喻品(け
じょうゆほん)**に登場する仏で、お
釈迦様のお師匠さんと言われてい
ます。

伊予水軍の祖、**越智玉澄(たま
ずみ)公**が**文武天皇**の勅願を受け
て**大三島(おおみしま)**という場
所に**大山積(おおやまづみ)明神**
を勧請し、**大山祇(おおやまづみ)**
神社を建立。その際に建てた**法楽**
所が始まりです。
渡海しての参拝が不便なことか
ら、ほどなく現在地に移設されま
した。

この地を拠点とした**村上水軍、河
野水軍**にも信仰されたそうです。

★土砂加持

五十五番から約三・二キロメー
トル、五十六番は**金輪山(きんり
んざん)泰山寺(たいさんじ)**で
す。

この地を流れる**蒼杜川(そうじ
やがわ)**は、度々氾濫して多くの
人命を奪うことから、**別名人取川
(ひととりがわ)**と呼ばれ、悪霊
の仕業と恐れられていました。

この地を訪れたお大師様は**土砂
加持(どしゃかじ)**を七座にわた
って修法し満願。
お大師様は**不忘(わすれず)の**

松を植え、地蔵菩薩を彫って本尊
とし、**泰山寺**と命名。
寺号は、**延命地藏経**の十大願の
第一、**女人泰産**からとったと伝え
られています。

★伊予の石清水八幡宮

五十六番から約三キロメートル、
五十七番は**府頭山(ふとうざん)栄
福寺**。

府頭山(八幡山)を目指して田
圃道を進むと、山麓から急な参道
になります。正面に進むと**八幡宮**、
途中から右に折れると**栄福寺**の境
内に入ります。

古来この近海では海難事故が絶
えず、お大師様が巡錫した折に海
神供養の護摩供を修法。感得した
阿弥陀如来をご本尊として奉安し
ました。

平安時代初期に**行教(ぎょうきよ
う)上人**が府頭山の山容が**京都石
清水八幡**のある**男山**と酷似してい
ることに気づき、神仏合体の宮を
創建。以来、**栄福寺**は神仏合体の
勝岡八幡宮、伊予の石清水八幡宮
として親しまれてきました。明
治時代の神仏分離令によって寺社
が独立。現在の配置となりました。

★お加持の井戸

さて、来月も今治市内の札所が
続きます。境内から今治市街、瀬
戸内海の島々、**しまなみ海道**が一
望でき、諸病を救った**お加持の井
戸**を擁する五十八番からです。乞
ご期待。

